

国際学部新入生 時間割作成のポイント

大学で受講する授業の時間割は学生が各自で作成する必要があります。以下の手順に沿って、時間割を組み立てましょう。履修登録（授業の登録）の手順は、学生便覧の該当ページをよく読んでください。

<履修登録のスケジュール>

4/1(月)~4/3(水)	4/4(木)	4/6(土)	4/7(日)~4/12(金)
①履修登録 (一次申込)	⇒ 抽選 ②時間割開示 (一次抽選結果)	③履修登録 (二次申込)	⇒ 抽選 ④時間割開示 (二次抽選結果)
⇒ 抽選 ⑤履修登録修正	→ ⑥履修登録修正		
履修したい科目をパソコンにてALBO「履修申請・成績時間割表確認」メニューより申込みをしてください。 ※登録しても抽選の結果で履修できない場合があります(先着順ではありません)。	抽選結果を必ず確認してください。 ※抽選漏れした科目は表示されません。 ※この時点で表示されている科目は確定です。	一次抽選漏れした部分を中心に、再度履修したい科目の申込みをしてください。 ※希望者多数の場合、抽選となります(先着順ではありません)。	抽選結果を必ず確認してください。 ※抽選漏れした科目は表示されません。 ※この時点で表示されている科目は確定です。
二次抽選漏れした部分を中心に、再度履修したい科目の申込みをしてください。 ※この時点で申請した科目は、抽選にはなりません。申請できれば確定となります。	授業が始まった後、この期間中は履修する科目の申請・削除を行うことができます。 ※この時点で申請・削除できれば確定となります。 【最終時間割確認】 履修登録修正期間中、修正を行うたびに、必ず成績表・履修時間割表pdfにて自分の時間割を確認してください。		
□4/1(月) 13:00~24:00 □4/2(火) 6:00~24:00 □4/3(水) 6:00~11:00	開示時刻 午前6:00	6:00~24:00	開示時刻 午前6:00
			【1年】 6:00~24:00 【2-4年】 12:00~24:00
			□4/7(日)~4/11(木) 6:00~24:00 □4/12(金) 6:00~17:00
<ul style="list-style-type: none"> ・科目選択後に「履修申請」ボタンをクリック忘れにより登録できていない例が多くあります。全ての履修希望科目の選択が終了したら、必ず「履修申請」をクリックしてください。 ・大学・自宅等からご自身のパソコンにて履修登録を行ってください。スマートフォンは動作保証の対象外です。 ・ALBOの動作が遅い場合、時間をずらしてアクセスしてください。 ・上記以外の期間については、特別の理由のない限り履修登録の修正は認めません。 			

1. 卒業までの履修計画を確認する

卒業に必要な単位数は **140 単位** ですが、1 セメスターに履修登録できる最大の単位数は **24 単位** です。1 年間で春学期と秋学期の 2 回履修登録の機会がありますので、1 年間で修得できる単位数は最大 48 単位です（ただし、1 年生秋学期は Overseas University Studies の履修のみのため修得できる単位は 12 単位となります）。

3～4 年生は就職活動や卒業研究が予定されるため、**低学年のうちできるだけ単位修得することをお勧めします。**

一部の科目は、所属する班によって履修できる曜日・時限が異なります。履修したい授業が開講している曜日・時限を時間割表でよく確認し、必要な授業の履修を忘れないように注意しましょう。

授業の内容はシラバスを読んでください。各科目の履修上の注意点は学生便覧に掲載されていますので、併せて確認してください。科目によっては定員が設けられており、希望者多数の場合は抽選等が行われます。

2. 国際学部固有科目について理解する

卒業までに必要な 140 単位のうち、**104 単位を国際学部固有の科目から修得する必要があります。** 学部固有科目の内訳は、必修科目 64 単位+選択必修科目 14 単位+選択科目 26 単位=104 単位です。科目によって履修可能な学年が定められています。

■ **必修科目** 卒業までにすべての科目を修得する必要があります。

■ **選択必修科目** 各グループから、卒業までに少なくとも 14 単位を選択して修得する必要があります。

■ **選択科目** 必要単位数を超えて単位を修得した場合は、選択科目の修得に必要な26単位に計上されます。

【学部固有科目注意事項】

■ **1年生春学期の履修登録制限単位に含まれない科目**

◇留学事前準備 A ◇留学事前準備 B ◇留学事前準備 C

これらの科目は留学のための準備科目で学部固有科目一覧表に載っておらず、単位付与はありません。ただし、Overseas University Studies の認定の際に、これらの科目の取組状況が考慮されます。

必修科目

卒業までに必ず修得する必要がある。

《1年生の対象科目》6科目(12単位)

区分A

- ・English for Practical Communication
- ・English for Discussion and Presentation
- ・English for Academic Purposes

区分C

- ・入門ゼミ(アカデミック・スキルズ)

区分D(専攻によって異なる 国際人間学専攻なら以下)

- ・哲学・人間学入門Ⅰ(論理と哲学)
- ・グローバル・ヒストリー概論Ⅰ(歴史学)

選択必修科目

指定された複数の科目から選択して必ず修得する必要がある。

《1年生の対象科目》2科目(4単位)

区分E(専攻によって異なる 国際人間学専攻なら以下)

- ・国際関係論
- ・国際開発学入門
- ・国際経済学入門Ⅰ(ミクロ経済学)
- ・国際経営学入門Ⅰ(組織・戦略)
- ・ことばの仕組み
- ・異文化理解概論
- ・英語学概論
- ・英語圏文学概論

※1年生は区分Eでの履修は2科目まで

選択科目

卒業までに26単位選択して修得する

《1年生の対象科目》なし

8 学部固有科目一覧表		国際学部	国際学科	国際人間学専攻(P1)	哲学・人間学専修(PHAN (P1-1))
学年区分	卒業要件単位数	1年春 科目名【単位数】	1年秋 科目名【単位数】	2年春 科目名【単位数】	主専修 科目名【単位数】
A	必修	22	English for Practical Communication [2] English for Discussion and Presentation [2] English for Academic Purposes [2]	全専修	Integrated Academic Skills II[2]
B	必修	8 ※1	世界の言語(第二外国語)	全専修	フランス語IA [2] ロシア語IA [2] フランス語IB [2] ドイツ語IA [2] イタリア語IA [2] ドイツ語IB [2] スペイン語IA [2] 韓国語IA [2] 中国語IA [2]
C	必修	4	入門ゼミ(アカデミック・スキルズ) [2]	全専修	キャリア・デザイン[2]
D	必修	4	哲学・人間学入門Ⅰ(論理と哲学) [2] グローバル・ヒストリー概論Ⅰ(歴史学) [2]	PHAN GHIS	
E	選択必修	4 ※1	国際関係論 [2] 国際開発学入門 [2] 国際経済学入門Ⅰ(ミクロ経済学) [2] 国際経営学入門Ⅰ(組織・戦略) [2] ことばの仕組み [2] 異文化理解概論 [2] 英語学概論 [2] 英語圏文学概論 [2]	INTP INTD INTE INTB LING INTC ELNG ELIT	
F	選択	4	国際関係論 [2] 国際開発学入門 [2] 国際経済学入門Ⅰ(ミクロ経済学) [2] 国際経営学入門Ⅰ(組織・戦略) [2] ことばの仕組み [2] 異文化理解概論 [2] 英語学概論 [2] 英語圏文学概論 [2]	INTP INTD INTE INTB LING INTC ELNG ELIT	
G	選択必修	2 ※1	国際関係論 [2] 国際開発学入門 [2] 国際経済学入門Ⅰ(ミクロ経済学) [2] 国際経営学入門Ⅰ(組織・戦略) [2] ことばの仕組み [2] 異文化理解概論 [2] 英語学概論 [2] 英語圏文学概論 [2]	INTP INTD INTE INTB LING INTC ELNG ELIT	
H	白専修科目	必修	16		
I	白専修科目(特設)	選択必修	8		
K	卒業要件	必修	8		
J	選択科目	選択	26 ※2		

3. 全学共通科目について理解する

学部固有の専門的な科目だけでなく、総合的な知識を身につける教養科目の修得が必要です。卒業までに必要な単位数のうち、**18単位を全学共通科目から修得する必要があります。**学部固有科目と同様に、各科目群によって最低限修得が必要な単位数が決められています。

4. フロートについて理解する

全学共通科目と学部固有から自由に選択し、履修・修得する単位のことです。卒業要件を満たすためには決め

られた単位数を修得しなければなりません。フロート単位として算入される単位は、下表の通りです。

区分	フロート単位として算入される単位
全学共通	<「スポーツ・健康」「自然の探究」「人間の探究」「社会の探究」「新領域」> 各区分の卒業要件（所要単位）を超過した単位 <その他区分> 直接フロート単位となります
学部固有	【J】選択科目の卒業要件（所要単位）（26単位）を超過した単位

5. 時間割を組み立てる

これまでの注意点を参考にして、別紙「履修計画表」に時間割を書き込んでみましょう。

授業を実施する教室は、初回授業までに各自で確認してください。時間割作成の優先順位は次のとおりです。

① 教務センターが履修登録を行う科目

以下の科目はあらかじめ履修登録されています。履修登録時に確認し、登録がされていない場合は教務センターに申し出てください。

○区分【A】世界の言語プログラム(英語):月・水・金曜日のABC限

- ・English for Practical Communication
- ・English for Discussion and Presentation
- ・English for Academic Purposes

○区分外 留学事前準備

- ・留学事前準備B:木曜日5限
- ・留学事前準備C:春学期集中講義

② 学部固有必修科目

○区分【C】学部基礎科目

入門ゼミ:複数の曜日時限で開講しています。空いている曜日時限で登録してください。

履修登録から担当教員の決定までの流れについてはガイダンスで詳しく説明します。

○区分【D】専攻基礎科目

自分の専攻の科目を2科目登録してください。

国際人間学専攻

- ・哲学・人間学入門Ⅰ(論理と哲学)
- ・グローバル・ヒストリー概論Ⅰ(歴史学)

国際経済学専攻

- ・国際経済学入門Ⅰ(ミクロ経済学)
- ・国際経営学入門Ⅰ(組織・戦略)

英米学専攻

- ・英語学概論
- ・英語圏文学概論

国際政治学専攻

- ・国際関係論
- ・国際開発学入門

複言語・複文化学専攻

- ・ことばの仕組み
- ・異文化理解概論

③ 学部固有選択必修科目

○区分【E】専攻基礎科目

自分の専攻以外の科目を2科目選択してください。

④ 留学準備科目

○区分外 留学事前準備

留学事前準備A:複数の曜日時限で開講しています。空いている曜日時限で登録してください。

⑤ 全学共通科目<スポーツ・健康>

スポーツ・健康は 1セメスターに1科目しか履修登録できません。

スポーツは複数の曜日時限で開講しています。希望者多数の場合には抽選により履修できない場合があります。

6. 履修登録を行う

履修計画表ができたなら、それを基に履修登録を行います。一次及び二次登録は抽選漏れとなる場合があります。抽選結果を確認し、抽選漏れなどで履修できなかった科目があれば、追加の履修登録を行ってください。なお、修

正期間で登録する科目に抽選はありませんので、登録ができれば履修が確定します。

履修に関する FAQ(よくある質問)

Q 「単位」とは何ですか。

履修した授業に出席し、一定以上の成績を修めると、その証明として大学から与えられるものです。単位は数で表され、学生便覧の科目名の後ろにあるカッコの中の数字が、その科目を合格した際に修得できる単位数を表します。

Q 何単位分履修登録をしたらいいですか。

履修登録制限単位数内であれば、履修登録をする単位数は自由ですが、4年間で余裕も持って卒業できるよう、**可能な限り多くの単位を履修することを推奨します。**

Q 全学共通科目ソフィア系(講義系)科目は A と B をセットで履修する必要がありますか。また、B を先に履修し、その後 A を履修することは可能ですか。

全学共通科目ソフィア系科目(自然/人間/社会の探究・新領域)は**必ずしもセットで履修する必要はありません**。例えば、春学期に「数学 A」を履修した場合でも、秋学期に「数学 B」を履修しなければならないということはありません。また、履修する順序にルールはないため、春学期に「数学 A」を履修していなくても秋学期に「数学 B」を履修することはできます。授業についていけるか心配であれば、履修登録前にシラバスで授業内容を確認してください。

Q 今回の履修登録で全学共通科目ソフィア系科目(講義系)は、各科目群から均等に履修しなければいけないですか。(例)4 科目履修する場合、自然:1 科目 人間:1 科目 社会:1 科目 新領域:1 科目

1 年生春学期の履修登録では、**必ずしも均等に履修する必要はありません**。ただし、各科目群の最低単位数 4 単位は、早めに修得することが望ましいです。また、各科目群で 4 単位を超えて修得した単位は、フロート単位(18 単位)の単位としてカウントされます。

Q A 先生の「倫理学 A」と B 先生の「倫理学 A」を同時に履修できますか。

同じ名称の科目を同時に履修することはできません。また、一度履修をして合格した科目は、教員が違って再度履修することはできません。

Q 抽選とはなんですか。

一部の科目には定員が設定されており、履修者が定員を上回る場合は抽選を行います。国際学部の学部固有科目では「入門ゼミ」と「留学事前準備 A」がこれにあたります。抽選に漏れてしまった場合は、他の曜日時限で当該科目を履修登録しなおす必要があります。

Q 二次抽選で落選した科目があった場合どうしたらいいですか。また、履修が確定した科目を修正して、新しい科目を履修登録することはできますか。

二次抽選で落選した場合、履修登録修正期間に追加登録を行ってください。
また、確定した科目についても修正することが可能です。履修登録修正期間で登録した科目は、先着順で、抽選にはなりません。登録できれば確定となります。

Q 履修登録した科目が MaNaBo に反映されません。

MaNaBo に履修科目が表示されるのは、次のタイミングです。
・一次申込期間に申請し、当選した科目 → 4/4の朝6時から反映されます。
・二次申込期間に申請し、当選した科目 → 4/6の朝6時から反映されます。
・履修登録修正期間に追加した科目 → 登録した**翌日の朝6時**から反映されます。

〔参考〕履修計画表:春学期

時限	項目	月	火	水	木	金
1 限	科目名 (単位数) 【教員名】	世界の言語プログラム (英語)	() 【 】	世界の言語プログラム (英語)	() 【 】	世界の言語プログラム (英語)
2 限	科目名 (単位数) 【教員名】		(2) 【未定】 () 【 】		(2) 【未定】 () 【 】	
3 限	科目名 (単位数) 【教員名】	() 【 】	() 【 】	() 【 】	() 【 】	() 【 】
4 限	科目名 (単位数) 【教員名】	() 【 】	() 【 】	() 【 】	() 【 】	() 【 】
5 限	科目名 (単位数) 【教員名】	() 【 】	() 【 】	() 【 】	留学事前準備B (0)	() 【 】

履修計画チェック表

項目	チェック
自分の専攻の「自専攻基礎科目」を 2 科目いれましたか？	<input type="checkbox"/>
「他専攻基礎科目」を 2 科目いれましたか？	<input type="checkbox"/>
入門ゼミはいれましたか？	<input type="checkbox"/>
留学事前準備 A はいれましたか？	<input type="checkbox"/>
残り最大 8 単位分、全学共通科目をいれられます。履修登録制限単位の 24 単位におさまっていますか？	<input type="checkbox"/>

資格課程について

資格課程ごとに履修が可能な学科や申込方法等が掲載されています。資格課程の履修を希望する学生は、あらかじめ学生便覧を確認しましょう。

教職課程について

教員免許状を取得できる学科は、言語文化学科です。教職課程履修の申込み手続きの受付は、1年生の3月下旬に行います。1年生のうちから教員免許状取得に必要な科目を計画的に履修してください。そのために4年間の履修計画を立て、必要に応じて教務センター教職支援係に相談してください。

提携大学の通信プログラムを利用することで、希望者のみ小学校教諭2種免許状または特別支援学校教諭1種免許状を取得ができますが、より計画的な履修が必要です。

日本語教師養成課程について

2年生春学期から日本語教師養成課程を履修することができます。課程登録は1年生の2・3月頃に実施するガイダンスへの参加が必須です。履修を希望する場合は1年生のうちから履修可能な選択必修科目を履修しておくことをおすすめします。

※国際学部の各学年の定員は10名です。履修希望者が10名を超えた場合は、第2セメスター終了時のGPAにて選抜します。

Honors Program について

本プログラムは、様々な学問領域から研究・学修し、国際社会が直面する諸課題を多面的に追求し、解決に取り組むことができる知識・能力を身につけた人材を養成することを目指す国際学部独自のプログラムです。卒業要件の充足を前提に、1つの学問分野の学修だけを深化させるのではなく、他の分野の学問についても同時に探求し、総合的な知識を体系的に身につけていくことを目的とする学修プログラムです。本プログラムへの参加を希望する場合は、1年次から計画的に履修しましょう。

Plurilingual Program について

2年次から学修する第二外国語を3年次以降さらに発展的に学ぶプログラムです。複言語・複文化学専攻の学生は、複言語・複文化能力の向上に努め、多種多様な言語・文化を持つ人々と交流できることを学修成果の一つとしているため、本プログラムを修了することが期待されています(教職課程履修者除く)。

その他

・国際学部では、2年次進級時に進級判定を行います。1年次において Overseas University Studies の単位を未修得の者は、進級することができません。

・1年次春学期のGPAは2年次の第二外国語や専修決定時に重要となります。1年次から履修計画をしっかりと立てて取り組みましょう。